

人と石灰

Humans and Lime

山内 皓世



ものづくりの原型に触れる

人と石灰は太古からものづくりを通して脈々と関係性を築いてきた。このプロジェクトでは石灰がもつ自然硬化などの原始的特性に着目し、新たに素材“NCM”を制作。そしてそれを通じて、プリミティブなものづくり自体の価値と可能性を探求した。

Experience the archetype of creation

HUMANS AND LIME aims to create a new material (NCM) and through that material's characteristics, try to explore the value and potential of primitive manufacturing. More specifically, focusing on the primitiveness of lime, such as its natural hardening properties.



1

3種のNCM*を使用し、ファニチャーを彫刻した。自然と共生し、ものづくりを能動的にする、その行為自体に価値が有るように感じる。“つくること”は人間本来の感覚、価値観を掘り起こし、豊かさを再考するきっかけとなりうる。

*NCM/ Natural hydraulic lime, Clay, Magnesium chloride

2

天然水硬性石灰 / 粘性を持つ土 / 塩化マグネシウム / 水を調合してできる素材 (NCM) を制作した。水と二酸化炭素に反応しながら自然硬化し、切削しやすく、土に還る特性をもつ。調合量や顔料、土により表情が変化する。

3

NCMに触りながら、オブジェを制作するワークショップを開催した。0から成形まで、全て自分の手で完結することができ、原始的なものづくりとは何かを直感的に体験する。